

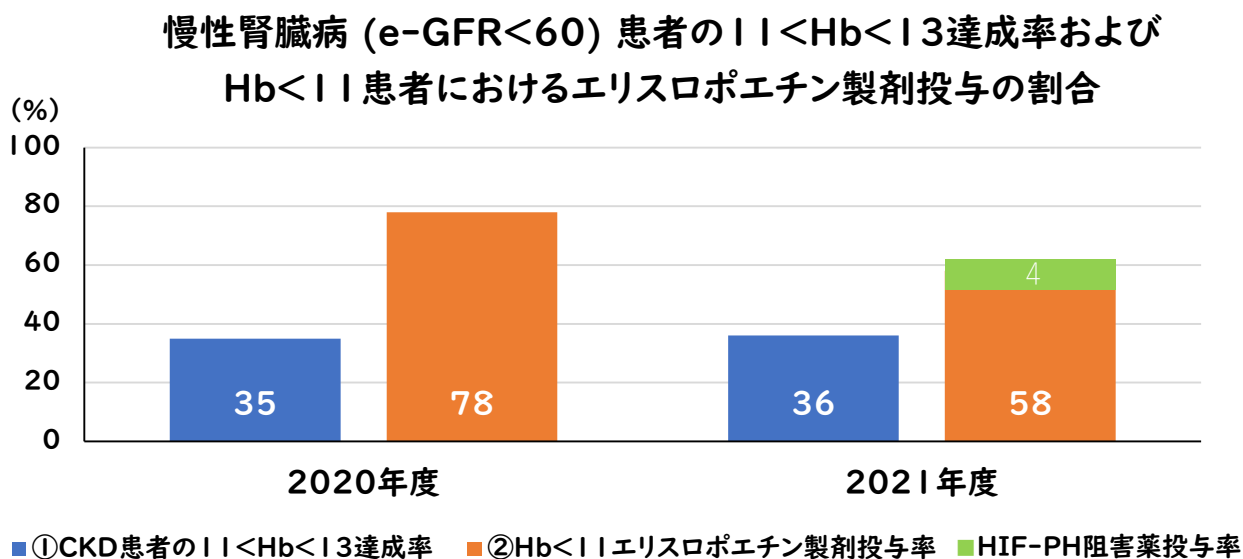
4 慢性腎臓病(e-GFR<60)患者の11<Hb<13達成率およびHb<11患者におけるエリスロポエチン製剤とHIF-PH阻害薬投与の割合

腎臓内科

◆解説◆

慢性腎臓病患者ではステージの進行とともにエリスロポエチン産生が低下し腎性貧血を来します。腎性貧血は心不全の増悪や腎症進展にも関連することが報告されており、腎性貧血の改善は心不全および腎症進展予防にも繋がるため、ガイドラインでも推奨されている目標Hb濃度の達成率の評価を行いました。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

2021年度の外来通院中慢性腎臓病患者の目標Hb濃度達成率は36%でした(Hb<11:27%, Hb>13: 37%)。目標Hb値に達していない症例のエリスロポエチン製剤およびHIF-PH阻害薬使用率は62%と、昨年度より低くなっていました。今後ガイドラインで推奨されている目標Hb濃度を維持できるよう、エリスロポエチン製剤やHIF-PH阻害薬の投与を推進して参ります。なお、HIF-PH阻害薬はエリスロポエチンの産生を誘導する新しい内服薬です。従来からのエリスロポエチン製剤に加え、本薬剤の使用が増えつつあるため2021年度より本薬剤の投与率を追加しています。

◆定義◆

- ①腎臓内科外来通院中の慢性腎臓病(e-GFR<60)全外来患者のうち、11<Hb<13を達成できた患者の割合
- ②慢性腎臓病全外来患者のうちHb<11の患者で、エリスロポエチン製剤およびHIF-PH阻害薬投与を行っている患者の割合